

**IBM Marketing Operations**

バージョン9 リリース 1.1

2014 年 11 月 26 日

**リリース・ノート**

**IBM**

注

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、27 ページの『特記事項』に記載されている情報をお読みください。

本書は、IBM Marketing Operations バージョン 9、リリース 1、モディフィケーション 1 および新しい版で明記されていない限り、以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原典： IBM Marketing Operations  
Version 9 Release 1.1  
November 26, 2014  
Release Notes

発行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担当： トランスレーション・サービス・センター

© Copyright IBM Corporation 2002, 2014.

---

## 目次

第 1 章 システム要件および互換性 . . . . .	1
第 2 章 バージョン 9.1.1 の新機能および 変更点 . . . . .	3
IBM Marketing Operations- Campaign システムの新機 能 . . . . .	6
第 3 章 修正された障害 . . . . .	7
統合システム内の修正された問題 . . . . .	8
第 4 章 既知の問題 . . . . .	11
統合された Marketing Operations-Campaign システム の既知の問題 . . . . .	14
第 5 章 既知の制限 . . . . .	15
第 6 章 IBM Marketing Operations Reports Package . . . . .	19
第 7 章 IBM Marketing Operations-Campaign Reports Package . . . . .	23
第 8 章 IBM 技術サポートに問い合わせ る前に . . . . .	25
特記事項 . . . . .	27
商標 . . . . .	29

プライバシー・ポリシーおよび利用条件に関する考 慮事項 . . . . .	29
--	----



---

## 第 1 章 システム要件および互換性

IBM® Marketing Operationsは、IBM EMM 製品スイートの一部として動作します。

- Marketing Operations バージョン 9.1.1 には、IBM Marketing Platform 9.1.1 が必要です。
- レポート作成に関しては、Marketing Operations 9.1.1 は、バージョン 9.1.1 の Marketing Operations および Marketing Operations/Campaign のレポート・パッケージを使用します。

インストール手順については、「*IBM Marketing Operations* インストール・ガイド」を参照してください。

以前のバージョンの Marketing Operations をお持ちの場合、アップグレード手順とアップグレード・プロセスでサポートされるバージョンについては、「*IBM Marketing Operations* アップグレード・ガイド」を参照してください。



---

## 第 2 章 バージョン 9.1.1 の新機能および変更点

IBM Marketing Operations 9.1.1 には、モバイル承認、ワークフロー・テンプレート・ブランチ、プロジェクトと要求の非アクティブ化、およびリスト・ページのカスタム列順序の作成のための新機能が組み込まれています。このリリースでは、資料のための IBM Knowledge Center も導入されています。

Marketing Operations 9.1.1 の新機能と変更点に関する詳しい情報は、Marketing Operations に関する一連の資料を参照してください。

### Chrome ブラウザーのサポート

9.1.1 以降、Marketing Operations は Windows オペレーティング・システム上の Chrome でサポートされるようになりました。

### モバイル承認

バージョン 9.1.1 以降、Marketing Operations には、モバイル・ブラウザー用に最適化された限定機能が組み込まれるようになりました。モバイル・デバイス上の承認プロセスを評価するためのサポートが Marketing Operations に組み込まれるようになりました。

モバイル承認は、創造的添付ファイルを使用しない承認の場合、つまり変更をコメントで記述できるときに特に有用です。モバイル承認は、承認を要する部分の本質をテキスト記述で捕えるケースを対象としています (例えば、「メールの数を 10,000 から 15,000 に増やすことの承認のお願い」)。

このような承認には、同じく承認する添付ファイルが 1 つ以上含まれることがありますが、モバイル承認ではそれらの添付ファイルの名前のみが表示されます。要求者は、承認者が判断を下せるように、各添付ファイルとともに説明テキストを含める必要があります (例えば、「要求どおり企業ロゴをファイル上のものに変更しました」)。

モバイル機能は、Chrome 3.6 ブラウザーを使用する Android デバイス 4.4.x 以上でのみサポートされます。

### ワークフロー・テンプレート・ブランチ

ワークフローを少し変形したものが多くの類似プロジェクトで必要になる場合があります。別々のテンプレートを作成する代わりに、ユーザー入力に基づいて変化するワークフローを使用するようにプロジェクト・テンプレートを構成することができます。この機能を使用することで、組織のテンプレート・コレクションを簡素化できます。

以下のタイプのフォーム属性およびキャンペーン属性に基づいて、ワークフロー・テンプレート・ブランチを作成できます。

- 単一選択
- 単一選択データベース

- はいいいえ

例えば、展示会を組織するためのプロジェクトには「配布資料」という属性がありますが、ブースでの配布資料にはさまざまなオプションがあります。オプションとして、パンフレット、ブックレット、デモンストレーション DVD、および 3D 制作物があります。各配布資料の作成に必要なワークフロー・タスクは異なりますが、展示会を組織するための他のステップは同じです。

## プロジェクトと要求の非アクティブ化

組織がしばらく IBM Marketing Operations を使用すると、古いまたは不要なプロジェクトや要求でユーザー・インターフェースが乱雑になることがあります。プロジェクトや要求を非アクティブにすることで、乱雑さを軽減して検索を簡素化できます。

Marketing Operations ユーザーのほとんどは、オブジェクトの「サマリー」タブ、またはプロジェクトおよび要求のリスト・ページで、プロジェクトおよび要求の非アクティブ化と再アクティブ化を行えます。各ページに表示されるオブジェクトの数によっては、最大 1000 までのプロジェクトおよび要求を、この方法で非アクティブ化または再アクティブ化できます。各ページに表示されるオブジェクトの最大数は、管理者が管理構成設定で指定します。

プロジェクトと要求を非アクティブにすると、それらはユーザー・インターフェースに表示されなくなります。また、特に検索しない限り、検索結果にも表示されなくなります。以下の標準検索では、非アクティブ状態のプロジェクトおよび要求が表示されます。

- **非アクティブ化プロジェクト (Deactivated Projects)**
- **非アクティブ化要求 (Deactivated Requests)**
- **非アクティブ化プロジェクトおよび要求 (Deactivated Projects and Requests)**

これらのデフォルト検索をフィルタリングすることによって形成される検索で、非アクティブ化状態のプロジェクトおよび要求を見つけることもできます。

非アクティブのプロジェクトおよび要求は、データベースに残ります。非アクティブ・プロジェクトをいつでも再アクティブ化できます。

プロジェクトまたは要求を非アクティブにするには、以下の基準を満たしていなければなりません。

- プロジェクトは、「完了」、「キャンセル済み」、または「保留」のいずれかの状態でなければなりません。
- プロジェクト要求は、「キャンセル済み」または「承認済み」のステータスでなければなりません。
- プロジェクトにサブプロジェクトがある場合は、サブプロジェクトの状態も、「完了」、「キャンセル済み」、または「保留」のいずれかでなければなりません。親プロジェクトを非アクティブにするためには、その前にサブプロジェクトも非アクティブにする必要があります。
- Campaign-Marketing Operations 統合環境では、キャンペーンがリンクされているプロジェクトまたはサブプロジェクトを非アクティブにするためには、その前に

キャンペーンの終了日を過ぎていなければなりません。これから終了日を迎えるプロジェクトを非アクティブにすることはできません。

## プロジェクトおよび要求の一括非アクティブ化

管理者は、プロジェクトおよび要求を一括で非アクティブにして、不要なオブジェクトをユーザー・インターフェースから素早く削除することができます。管理者はこの機能を使用することで、大規模システムのクリーンアップをより迅速に行えます。非アクティブ化の基準は同じです。

管理者は照会に基づいて一括非アクティブ化をセットアップし、IBM Marketing Platform スケジューラーで非アクティブ化をスケジュールします。

## オブジェクト・リストの列の再配置

マーケティング・オブジェクト・リストのカスタム・データ列および標準データ列を、最も関係のあるデータをスクロールなしで見ることができるよう、再配置できます。表示するカスタム列を選択できます。標準属性は、システムによって使用されるために削除できませんが、最も便利な位置や最も目立たない位置に配置することができます。

以下のマーケティング・オブジェクトのリストで、列の順序を再配置できます。

- プロジェクト
- 資産
- オファー
- マーケティング・オブジェクト

## 単一 URL

プロジェクトおよびマーケティング・オブジェクトの URL の形式が変更されました。グリッドまたは TCS にマーケティング・オブジェクトまたはプロジェクトの単一 URL を作成してそれを開くと、そのオブジェクトのすべてのタブ（「分析」タブおよび「サマリー」タブを含む）の読み取り専用バージョンを表示できる単一のブラウザー・タブが表示されるようになりました。

これまでは、マーケティング・オブジェクトまたはプロジェクトの「サマリー」タブの URL をグリッドに入力した場合、URL をクリックすると「サマリー」タブのみが開いていました。今後は、グリッドまたは TCS に URL を入力すると、マーケティング・オブジェクトまたはプロジェクトが開いてその URL で指定されたタブが表示されると同時に、他のタブもすべて表示できるようになりました。

現時点では、オブジェクトは読み取り専用モードで開くため、このビューでオブジェクトを編集したり、追加のプロジェクトやマーケティング・オブジェクトにリンクさせたりすることはできません。変更を加えるには、Marketing Operations のメインウィンドウに戻ってプロジェクトまたはマーケティング・オブジェクトを開きます。

## IBM ExperienceOne Knowledge Center

バージョン 9.1.1 以降、IBM ExperienceOne Knowledge Center で製品資料を参照できるようになりました。ここでは、ExperienceOne ファミリーの全製品の資料があります。IBM ExperienceOne Knowledge Center を利用して、以下の操作を行えます。

- 特定の製品をすべての資料にわたって検索する。
- スイートに含まれるすべての製品にわたって検索する。
- トピックにブックマークを付ける。
- 特定のトピックへのリンクを共有する。
- IBM サポートおよび教育リソースにアクセスする。

各製品の「ヘルプ」メニュー（「ヘルプ」>「製品資料」または「ヘルプ」>「このページのヘルプ」など）を使用することより、以前のリリースと同様に、共通タスク、トラブルシューティング、およびサポートに関する資料を参照することができます。他のすべての IBM 製品に関する資料については、IBM Knowledge Center (<http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/>) をご利用ください。

---

## IBM Marketing Operations- Campaign システムの新機能

IBM Campaign と統合されたIBM Marketing Operationsシステムの場合、9.1.0 リリースには、プロジェクト属性をキャンペーン属性へ自動的にコピーする新機能が含まれます。

### プロジェクト属性をキャンペーン属性へコピーする

バージョン 9.1.0 では、キャンペーンにリンクされた Marketing Operations のプロジェクトおよびプロジェクト要求の作成者が、Campaign によって、自動的により多くのデータをプッシュすることができます。この機能によってデータ入力時のエラーのリスクが低減され、キャンペーン・プロジェクト作成の処理速度が加速します。

プロジェクトからキャンペーンへ自動的にプロジェクト情報をコピーするキャンペーン・プロジェクト・テンプレートを、構成することができます。説明、開始日、終了日を自動的にコピーでき、同じ情報を 2 度入力する必要がなくなります。プロジェクト属性を自動的に Campaign へコピーするには、キャンペーン・プロジェクト・テンプレートを作成する際に、「プロジェクト属性をキャンペーン属性へコピーする (Copy project attributes to campaign attributes)」チェック・ボックスを選択します。

「プロジェクト属性をキャンペーン属性へコピーする (Copy project attributes to campaign attributes)」チェック・ボックスがテンプレート上で選択されていない場合でも、ユーザーはオブジェクト・インスタンスにてワンクリックで情報をコピーできます。このチェック・ボックスが選択されていないテンプレートからインスタンスを作成する場合、「プロジェクト属性をキャンペーン属性へコピーする (Copy project attributes to campaign attributes)」リンクはプロジェクト属性を Campaign へコピーします。

## 第 3 章 修正された障害

IBM Marketing Operations バージョン 9.1.1 では、以下の障害が修正されています。

表 1. Marketing Operations バージョン 9.1.1 で修正された障害

問題 ID	説明
66673	<p>以前は、Marketing Operations がデフォルトの SSL ポートに配置されていると、いくつかの管理ページにある最近のリンクの中に動作しないものがありました。ユーザー用および非管理機能用の最近のリンクは動作していました。</p> <p>この問題は修正されました。</p>
72048	<p>Internet Explorer バージョン 9 および 10 で、150% を超えるズームの場合、ユーザー・インターフェースのレンダリングの問題が発生することがありました。</p> <p>この問題は修正されました。</p>
91709	<p>プロジェクト要求編集モードで、宛先の名前にユーザーのタイム・ゾーンが表示されませんでした。プロジェクト要求ビュー・モードでは、ユーザーのタイム・ゾーンが表示されていました。</p> <p>この問題は修正されました。</p>
156839	<p>以前のバージョンでは、悪意のある可能性のあるファイルがアップロードされることがありました。アップロードされるファイルは、「Marketing Operations」&gt;「umoConfiguration」&gt;「fileUpload」&gt;「allowedFileTypes」構成プロパティでリストされた許可ファイル・タイプに制限されます。以前のリリースでは、特定の状況下で、allowedFileTypes リストにないファイル・タイプが許可されていました。この問題が修正されました。</p>
166475	<p>Marketing Operations がプロキシ・サーバーと連動している場合、「プロジェクトの複製 (Clone projects)」オプションをクリックすると、スクリプト・エラーになっていました。スクリプト・エラーになると、Web アプリケーション・サーバー・ログ・ファイルに次のエラー・メッセージが表示されていました。</p> <p>LOG: Error: java.lang.IllegalArgumentException, Failed to find parameter: scriptSessionId</p> <p>この問題は対処済みです。</p>
158509, 160231	<p>TCS グリッドからのマップ済みオファーが偶発的に削除されていました。この問題が修正されました。</p>
162466	<p>Marketing Operations の予算関連 API を使用してグリッドの行を更新すると、ランタイム・エラーになります。この問題が修正されました。</p>
162469	<p>updateProjectLineItemAllocation API に渡された予算細分度が順守されていません。予算細分度の値を月次/周次として渡しても、Marketing Operations はそれを常に四半期と見なします。</p> <p>これは修正されました。</p>

表 1. Marketing Operations バージョン 9.1.1 で修正された障害 (続き)

問題 ID	説明
169716	「マーケティング・オブジェクト」ページの検索ボックスにキーワードを入力して単純検索を行った場合、「すべてのマーケティング・オブジェクト (All Marketing Objects)」階層リンクが表示されません。そのためユーザーは、階層リンク URL をクリックしてマーケティング・オブジェクトの全リストに再びナビゲートすることができません。これは対処済みです。
159828, 162465	Marketing Operations の予算関連 API を使用する場合、Marketing Operations ユーザー・インターフェースを使用して作成されたバージョンがプロジェクトになれば、予算または明細項目の割り振りが適切に更新されません。この問題が修正されました。(PMR157949)
17095	値をいったん選択してユーザー選択属性に保存すると、フィールドをクリアできません。システムは、レコードが保存されるたびに、最後に選択された値を格納します。この問題は対処済みです。
170343	「ステータス」列見出しをクリックして事前構成ビュー「自分のチームから割り当て解除したすべての承認」をソートすると、エラー 5000 が発生していました。これは修正されました。
160234	状況によっては、複数のユーザーが同時にグリッドを保存すると、エラーになっていました。この問題が修正されました。
121662	URL フィールド・タイプの属性を持つフォームをユーザーが作成し、そのフォームをマーケティング・オブジェクト・テンプレートに追加すると、エラー 5000 が発生します。この問題が修正されました。
162462	カスタム API コードを実行する Marketing Operations 環境が関係する特定の状況では、リンク・プロジェクトの作成時に Web アプリケーション・サーバーでハング・スレッドが見られることがあります。この問題は対処済みです。
147196	以前のリリースでは、Marketing Operations 構成は E メール通知用に SMTP ポート 25 のみをサポートしていました。この問題が対処され、管理者は notifyEmailMonitorJavaMailHost 構成プロパティを <smtpHostName>:<smtpPort> として設定できるようになりました。ポートを省略した場合は、デフォルト・ポート 25 が使用されます。
147008	以前は、API 呼び出しから直接「予算」タブに割り振りを設定することができませんでした。これは対処済みです。

## 統合システム内の修正された問題

以下の表には、バージョン 9.1.0 で Campaign と統合された IBM Marketing Operations システム内の修正された問題が示されています。

問題 ID	説明
5468	IBM Digital Recommendations 設定の値が含まれていないオファー・テンプレートを拡張検索でユーザーが選択すると、その属性が検索結果に表示されます。
8053	ロケールとして中国語を設定するユーザーがターゲット・セル・スプレッドシートを公開しようとする時、例外エラーが発生します。
8437	オファー・インスタンスが作成された後で、オファー・テンプレートの「Coremetrics URL」または「テンプレート用の Coremetrics クライアント ID」に対して編集が行われる場合、ユーザーがオファー・インスタンスの 1 つに対して作業を行うときに、警告が表示されません。

問題 ID	説明
DEF061337 / DOC00595	オファ어의保存検索では、ディレクトリー・レベルに移動してから、結果のページをホーム・ページに設定することができます。しかし、ログインするたびに、ホーム・ページには選択した特定のサブディレクトリーではなくルート・ディレクトリーの検索結果が表示されます。
DEF061838	標準オファ어属性を持つオファ어・テンプレートを作成して有効期限と発効日を設定する場合、Marketing Operations は発効日が有効期限よりも前であるかを確認しません。
DEF062944	ネットワークや他の問題のために Campaign から Marketing Operations へのオファ어・データおよびメタデータのインポートが中断した場合、インポート処理を再開することができます。しかし、オファ어・フォルダのインポート中に障害が発生した場合は、エラー・メッセージ「FOLDER_WITH_SAME_NAME_ALREADY_PRESENT」が表示されません。
DEF063702	この問題は、バージョン 8.5 でオファ어統合が有効にされた、Marketing Operations-Campaign 統合システムに影響します。8.6 へのアップグレード後は、チャンネル属性とチャンネル・タイプ属性を指定してテンプレートを公開すると、Campaign に存在するそれらの属性のすべての値がデータベース属性テーブルから削除されます。このようなインポートが生じた後に、削除された値を手動で追加して元に戻す必要があります。Campaign で「管理セクション (Admin Section)」の「属性設定 (Attribute Settings)」リンクを使用するか、または Marketing Operations のフォーム・エディターを使用して再公開します。



## 第 4 章 既知の問題

以下の表には、IBM Marketing Operations バージョン 9.1.1 の既知の問題が示されています。

表 2. Marketing Operations バージョン 9.1.1 の既知の問題

問題	問題 ID	説明
DB2® v10.1 で、NOT EXISTS によって重複した結果が生成される	該当なし	DB2 v10.1 を使用するシステムでは、NOT EXISTS 演算子によって重複した結果が生成されます。照会に NOT EXISTS 節が含まれている場合、正しい結果にならないことがあります。  回避策として、 <b>DB2_ANTIJOIN</b> レジストリー・パラメーターを NO に設定し、DB2 サーバーを再始動することができます。次に例を示します。 <code>&lt;DB2-HOME&gt;¥BIN&gt;db2set DB2_ANTIJOIN=NO</code>
「前のページに戻る」をクリックするとエラーになる	1054	セキュリティ権限を持たないユーザーがダッシュボードの「前のページに戻る」をクリックすると、エラーになります。
アクセント付き文字を含むフォームを追加できない。	8027	ユーザーはアクセント付き文字を含むフォームを「フォーム名」または「テーブル名」フィールドへ追加することはできません。
Windows 7 および 8 の Adobe Professional XI で Internet Explorer を使用した場合に、SOAP ベースのマークアップがサポートされない。	71602	Adobe XI は、Internet Explorer でマークアップするための SOAP ベース API をサポートしません。この問題は Windows 7 および 8 OS と、IE ブラウザー 9、10 に影響します。この機能は MacOS 上の Safari ブラウザーでは動作します。  この問題を回避するには、SOAP ベースのマークアップ用に Windows 7 および 8 OS で Adobe X を使用します。
ローカライズされたユーザーまたはチームをユーザーが選択した場合に、ワークフローの下方へコピーする機能でエラーが発生する。	71853	英語以外のロケールでは、ユーザー名またはチーム名に特殊文字を含む場合、ワークフロー・ページでセルの下方へコピーする機能が値を保存しない場合があります。特殊文字には「^」「」「%」「&」が含まれます。
カレンダー・オブジェクトのズーム機能が使用されている場合、現在の四半期および月ごとの値がビューに表示されない。	91722	カレンダー・オブジェクトで、ユーザーが週ごとのビューから、より詳細な時系列のオプションにズームするときに、正しい週の範囲が表示されません。四半期ビューでは、現在の四半期の代わりに第 1 四半期が画面に表示されます。月次ビューでは、現在の月の代わりに 1 月が月次ビューに表示されます。
ワークフロー・デザイナーおよびプロジェクト・ワークフローでのプロセス・フロー図表レイアウトの問題	163452	Internet Explorer 10 では、プロセス・フロー図表レイアウトが正しくレンダリングされません。

表 2. Marketing Operations バージョン 9.1.1 の既知の問題 (続き)

問題	問題 ID	説明
依存関係が強制的に適用された承認を、その従属タスクがまだ完了していても、キャンセルできる	163730	本来は、ユーザーはエラーを受け取り、従属タスクが完了するまで承認を取り消すことはできません。
「選択した列」に移動した列が、「利用可能な列」に表示されたままである。	163736	「選択した列」に列を追加したら、その列は「利用可能な列」に表示されないはずです。
単一 URL ウィンドウで、「前のページに戻る」ボタンが正常に機能しないことがある。	166730	ユーザーがアクセス権を持っていないページにアクセスしようとした場合、またはそのページが削除されている場合は、「前のページに戻る」ボタンが機能しません。
非アクティブ化によってプロジェクトまたは要求に対して行われることを Marketing Operations がユーザーに通知しない。	166376	
Marketing Operations モバイル上の誤ったアイコン	171038	Marketing Operations のフォーム、フォーム・タスク、および予算明細項目で同じアイコンが表示されます。
ユーザーが「サマリー」タブで状態を変更すると、エラーになることがある。	172853	参照フォームが「サマリー」タブにあるとき、ユーザーが「サマリー」ページで状態を変更すると、その参照フォームは編集可能になり、他のタブは表示されなくなります。
エクスポート・ファイル名が誤ってフォーマット設定される	174130	プログラムおよびプロジェクトのエクスポート・ファイル名が誤ってフォーマット設定されます。他のタブは表示されません。
Oracle では、フォーム属性ストリングが長すぎると 5000 エラーになる。	175488	Oracle データベースでは、フォーム属性ストリングは 30 文字までに制限されています。この長さを超えると、5000 エラーになります。
ワークフロー・プロセス・ビューにタスクが正しい順序で表示されない。	175909	3 つのタスクが 1 つのタスクに依存している場合、依存関係を表す矢印がユーザー・インターフェースに表示されません。この問題は、Internet Explorer 10 でのみ起こります。この問題は「スプレッドシート・ビュー」では起こりません。
ワークフローで行を削除する操作と元に戻す操作を混用すると、タスクとそのシーケンスがゆがめられる。	175966	ワークフロー編集モードで、タスク一括削除操作を元に戻すと、正常に機能しません。この問題を回避するには、「元に戻す」を使用する代わりに、ワークフローの「キャンセル」ボタンをクリックします。
Marketing Operations-Campaign 統合システムで、特定のケースでオファーが複数回表示されることがある。	176049	特定のケースでは、TCS で「検索」または「削除」をクリックすると、「参照」セクションにオファーの重複コピーができることがあります。

表 2. Marketing Operations バージョン 9.1.1 の既知の問題 (続き)

問題	問題 ID	説明
Chrome 37 では、「予算バージョン」メニューが自動的に閉じられる。	176713	Chrome 37 を使用する場合、複数の予算バージョンを使用しているユーザーが「このバージョンにアクティブのマークを付ける (Mark this version active)」チェック・ボックス上にマウス・カーソルを移動させると、「予算バージョン」メニューが縮小されます。
インストール時にデータベース資格情報に大文字を使用するとエラーになる。	176872, 176873	この問題を回避するには、データベース詳細のホスト名とドメイン・ネームを小文字で入力します。
単一 URL が構成された非アクティブ化プロジェクトは、単一 URL リンクから読み取り専用オブジェクトとして表示されると、非アクティブ状態として示されない。	177024	単一プロジェクト URL では「アクション」ツールバーが非表示になるため、プロジェクトが非アクティブ状態であることを示すインディケータがありません。編集モードに戻ると、インディケータが再び表示されるようになります。
すべてのタブを読み取り専用モードにしてオブジェクトを開くための単一 URL 機能では、開いたオブジェクトが編集可能になるか、タブのセットが全部揃わない状態で表示される可能性がわずかながらある。	177042, 177444, 172846, 172847, 172489, 172856, 177458	この状態としては、単一 URL によって開かれたオブジェクトに含まれるプロジェクトの階層内のリンク、単一 URL によって開かれたウィンドウ内の単一 URL リンク、資産またはアカウント・オブジェクトを指す単一 URL、単一 URL としてクリックされた計画またはプログラム・オブジェクトの「分析」タブ、または「添付ファイル」タブがあります。
Chrome ブラウザーでは、複製されたプロジェクト上の「プロジェクトの作成」ボタンをクリックしても、機能しないことがある。	177288	ユーザーは、複製されたプロジェクトから新規プロジェクトを作成するためには、「プロジェクトの作成」ボタンを複数回クリックしなければならない場合があります。この問題は、Internet Explorer には関係ありません。
Marketing Operations-Campaign 統合システムでは、TCS グリッドが不適切に表示される。	177292	この問題は、Internet Explorer 10 でのみ起こります。
単一 URL リンクをクリックした結果として表示されるキャンペーン・プロジェクトでは、「実装」リンクが表示されず、キャンペーンのタブのための単一 URL 機能が実装されていない。	177309	この問題を回避するには、Marketing Operations のメインウィンドウに戻ってプロジェクトを開きます。
無効値があると、「拡張検索」ポップアップのユーザー・インターフェースがゆがむ。	177317	無効値があると、検索結果数が誤って表示されます。「拡張検索」ポップアップがゆがみます。

表 2. Marketing Operations バージョン 9.1.1 の既知の問題 (続き)

問題	問題 ID	説明
誤った資産 URL	177613	資産テンプレートにフォームを追加すると、URL のエラーになる場合があります。
同じ URL 属性を持つ複数のフォームを資産テンプレートに保存すると、5000 エラーになる。	177680	このエラーは計画には関係ありません。
Marketing Operations のアップグレード時にランタイム・エラーが発生するが、インストールに影響しない。	177891	Marketing Operations を 9.1.0.3 から 9.1.1 にアップグレードすると、ランタイム・エラーが発生します。ただし、アップグレードは正常に完了するので、このエラーは無視してもかまいません。
「ユーザー・フォルダー」に「None」が誤って表示される		「None」というラベルの、存在しないフォルダーが「ユーザー・フォルダー」に表示されます。この項目は無視してもかまいません。

## 統合された Marketing Operations-Campaign システムの既知の問題

以下の表には、バージョン 9.1.0 で Campaign と統合された IBM Marketing Operations システムに影響する既知の問題が示されています。

表 3. 統合された Marketing Operations-Campaign バージョン 9.1.0 の既知の問題

問題	問題 ID	説明
Marketing Operations オファーを Marketing Operations からの eMessage 資産へ関連付けることができない。	該当なし	Marketing Operations でオファーを作成し、Campaign で公開する場合、オファーは eMessage でのみ検索でき、アセットへ関連付けることができます。Marketing Operations からオファーを eMessage と関連付けることはできません。
Interact オファー抑止の機能が、Campaign オファーでのみ使用できる。	該当なし	Marketing Operations オファーは、Interact の 2 つの属性 (インタラクション・ポイント ID およびインタラクション・ポイント名) のみをサポートします。Interact におけるオファー抑止の機能は、Campaign で作成されたオファーでのみ使用可能で、Interact で作成されたオファーでは使用できません。

## 第 5 章 既知の制限

以下の表には、IBM Marketing Operations バージョン 9.1.1 の既知の制限が示されています。

表 4. Marketing Operations バージョン 9.1.0 の既知の制限

問題	問題 ID	説明
ダッシュボード・ポートレットの複数のスクロール・バー	3066	ブラウザ・ウィンドウのサイズを縮小すると、2 つのスクロール・バーを持つダッシュボード・ポートレットが表示されることがあります。Marketing Operations と Marketing Platform の両方が、スクロール・バー・コントロールを追加します。
プロジェクトおよびサブプロジェクトを手動でクリアする必要がある	5817	プロジェクト正常性 (月次) レポートを要求する際、「プロジェクト」および「サブプロジェクト」を選択して組み込むことができます。これらのリストのいずれかから値を選択した後、他の選択を行う場合、その選択を行う前に、すべてのプロジェクトまたはサブプロジェクトをクリアする必要があります。
Campaign からのオファーに関係のある関連製品は、Marketing Operations へ移行されませんでした。	62333	Campaign オファーには関連製品の機能があり、Marketing Operations オファーにはその機能がありません。そのため、関連製品は Campaign から Marketing Operations へ移行されません。
コメントが定義された上限を超えると例外になる	DEF062980	データベースによって課された上限を超えるテキスト・ストリングをフィールドに入力すると、データベース例外が発生します。例えば、DB2 データベースを使用するシステムで、1,048,576 より長いプロジェクト記述を保存しようとする、エラーになります。これはデータベース・サーバーによって課される制限です。
Safari ブラウザーがデータ・マイグレーション・ファイルを直接ダウンロード・フォルダーにダウンロードする	DEF063699	Safari ブラウザーで Marketing Operations を使用中にデータ・マイグレーションのインポートを実行すると、宛先フォルダーを指定するプロンプトは出されません。インポートされるファイルは、Safari でダウンロード用に指定されたフォルダーに直接ダウンロードされます。
ユーザーは英語以外の言語のマーケティング・オブジェクトを追加することができない	DEF057079	Marketing Operations では、マーケティング・オブジェクト・タイプ名にマルチバイト文字は許可されていません。
フォーム名、フォーム属性名、またはテーブル名のフィールドに英語以外の文字が使用されたフォームまたはテンプレートを追加することができない	DEF057100	英語以外の文字を使用したフォームおよびテンプレートのフィールドは保存できません。
プロジェクトがキャンセルされても、プロジェクトの入力が完了していても、ユーザーはタスク・ペインを使用して「要約」タブを編集できる	DEF057121	ページの右側でタスク・ペインがオープンしている状態で、「サマリー」タブでプロジェクトをキャンセルしたり、プロジェクトの入力を完了したりした場合は、プロジェクトがアクティブではなくても、引き続きタスク・ペインでプロジェクト・フォームを編集することができます。

表 4. Marketing Operations バージョン 9.1.0 の既知の制限 (続き)

問題	問題 ID	説明
レガシー・メトリック・テンプレートが新規テンプレートにマッピングされると、1 次キー違反になる	DEF057563	<p>Marketing Operations バージョン 8.5.0 で、外部メトリック・エディターがアプリケーション内に移動しました。バージョン 8.5.0 で作成されたメトリック・テンプレートには、タイプ (計画、プログラム、またはプロジェクトに対応する) を指定する必要があります。</p> <p>Marketing Operations には、バージョン 8.5.0 より前に作成された計画テンプレート、プログラム・テンプレート、またはプロジェクト・テンプレートに使用できるようにレガシー・メトリック・テンプレートが保持されていますが、新しいオブジェクト・テンプレートにはこのタイプ情報がないため、これらのレガシー・メトリック・テンプレートを新しいオブジェクト・テンプレートに使用することはできません。新規の計画テンプレート、プログラム・テンプレート、またはプロジェクト・テンプレートを作成する場合は、同じタイプを持つメトリック・テンプレートを選択する必要があります。新しいオブジェクト・テンプレート内でレガシー・メトリック・テンプレートを使用する必要がある場合は、新しい内部メトリック構成機能を使用してレガシー・メトリック・テンプレートを再作成しなければなりません。</p>
グリッド上のデフォルト日付が必ずしも正しくローカライズされない	DEF057605、 DEF040170	グリッドの日付選択制御は非英語ロケール用にローカライズされないため、一部の非英語言語ロケール (日本語など) の場合、グリッド日付属性のデフォルト値は必ずしもデータ設定されません。
未応答のレビュー担当者は、右側のタスク・ペインからの「保留中」承認を続行できない	DEF057650	<p>レビュー担当者が「保留中」状態の承認に応答していない場合は、右側のタスク・ペインを使用してその承認を続行することができません。タスク・ペインには承認のために「承認」、「変更して承認」、および「拒否」ボタンが表示されますが、「続行」および「キャンセル」ボタンは表示されません。一方、既に承認に応答した承認者は右側のペインから続行できます。</p> <p>右側のペインのボタンはユーザーの役割 (承認者または承認の所有者) に基づいて決定されるため、このシナリオのようになります。承認者と所有者が同一ユーザーである場合は、承認者のアクションが優先されます。</p>
計算メトリックの式は英語でなければならない	DEF057660	メトリック・テンプレートにメトリックを追加する場合、ユーザーはメトリックを「計画」または「ロールアップ」として指定できます。「式によって計算済み」フィールドに式を入力する場合、その式は英語でなければなりません。ROLLUP の代わりに翻訳された文字列を入力すると、エラーが発生します。
メトリック式が検証されない	DEF057726	メトリックに無効な式が指定されると、メトリックを使用するオブジェクト・インスタンスの「トラッキング」タブに入力した値が Marketing Operations によってファイナライズされるときに、例外エラーとなります。有効な演算子とオペランドについては、製品資料を参照してください。
データベース・テーブル名で大文字が使用されているカスタム・フォームのグループがアップグレードされない	DEF058551	この制限は、7.5.x から 8.5 にアップグレードし、その後 9.0 にアップグレードする (2 ステップ・プロセス) インストール済み環境に当てはまります。カスタム・グループに属性が含まれ、フォーム・テーブル名で大文字が含まれるカスタム・フォームが正しくアップグレードされません。カスタム・グループは削除され、属性はデフォルト・グループに移動されます。

表 4. Marketing Operations バージョン 9.1.0 の既知の制限 (続き)

問題	問題 ID	説明
SSOR/MSOR 属性を追加するとき、「マーケティング・オブジェクト・タイプ」ドロップダウンでオファーを選択できない	DEF059340	Marketing Operations バージョン 8.5 には、Campaign のオファー管理との統合に使用可能なデフォルトのマーケティング・オブジェクト「Offers」(uap_sys_default_offer_comp_type) があります。マーケティング・オブジェクト・タイプ「Offers」を参照する単一選択オブジェクト参照属性が自動作成オプションによって作成されたものである場合、自動作成されるオファーにはいくつかの重要なフィールド (キャンペーン・オファー・コードなど) が生成されないため、問題となります。このようなことに起因する問題を回避するために、SSOR 属性と MSOR 属性には「Offers」の参照が許可されていません。SSOR 属性または MSOR 属性を追加する場合に、「マーケティング・オブジェクト・タイプ」ドロップダウンで「Offers」は選択できません。
オファー・テンプレートのインポートに関する制限	DEF059793	次の場合、オファー・テンプレートはインポートされません。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 同じ ID のオファー・テンプレートが存在する。</li> <li>• 同じ ID のオファー・テンプレートが以前に公開されて削除されている。</li> <li>• 同じ名前のフォームがオファー・テンプレートに使用されている。</li> </ul>
承認を拒否するための理由を要求する機能を無効にすることができない	該当なし	ユーザーが承認を拒否するときに理由を要求するように Marketing Operations を構成すると、ユーザーは拒否理由の値を選択しなければなりません。ユーザーがこの機能の使用を開始した後、この機能を無効にするようにシステムを再構成することはできません。
Marketing Operations の単一 URL 構成は、資産オブジェクトとアカウント・オブジェクトをサポートしない	172846, 172847, 172489	
Marketing Operations の単一 URL 構成は、計画およびプログラムの「分析」タブをサポートしない	172856	計画オブジェクトおよびプログラム・オブジェクトの「分析」タブが単一 URL として構成されている場合、これらの URL をクリックすると、計画オブジェクトまたはプログラム・オブジェクトの他の部分にナビゲートするためのタブがユーザー・インターフェースに表示されなくなります。
単一 URL が構成された非アクティブ化プロジェクトが、非アクティブ状態として示されない	177024	
リンク/参照オブジェクトは、構成された単一 URL の場合は処理されない。	177042	例えば、プロジェクトがプログラムにリンクされ、そのプログラムが計画にリンクされている場合は、ユーザー・インターフェースに階層がリンクページとともに表示されます。これらのリンクは URL であり、クリックすると適切なオブジェクトにアクセスします。単一 URL の場合でも、これらのリンクはクリック可能になり、クリックすると、そのオブジェクトがタブ表示なしで開き、編集可能になります。
Marketing Operations-Campaign 統合システムでは、単一 URL 機能の機能が制限される	177309	単一 URL が構成されたキャンペーン・プロジェクトでは、「実装」タブは表示されません。キャンペーンのタブのための単一 URL 機能が実装されていません。

表 4. Marketing Operations バージョン 9.1.0 の既知の制限 (続き)

問題	問題 ID	説明
Marketing Operations がサポートする単一 URL 構成は 1 レベルだけである	177444	マーケティング・オブジェクトに、単一 URL ウィンドウ内に構成された別のマーケティング・オブジェクトへの参照があり、構成されたそれらの単一 URL 内に別のマーケティング・オブジェクトの構成がある場合は、これらの第 2 レベルの URL をクリックすると、オブジェクトがタブなしで表示されます。
IOS モバイル・システムでの Marketing Operations 承認には、レイアウトの問題がある	178600	IOS デバイスでは、「完了応答の投稿」ボタンとファイル名が見にくいです。
AcquireLock API は、ユーザーが編集モードで「スタッフ」タブや他のタブを開いた場合でも、例外をスローしない。	166474	IBM Marketing Operations API を使用する場合、オブジェクトに対するタブ・レベルのロックを獲得することはできません。GUI ではタブ・レベルのロックを許可するのに対し、この API はオブジェクト・レベルのロックのみ許可します。

---

## 第 6 章 IBM Marketing Operations Reports Package

### IBM Marketing Operations Reports Package について

IBM Marketing Operations Reports Package は、IBM Cognos® モデル、IBM Cognos レポート一式、および IBM Cognos レポート・ポートレット一式を提供します。

提供されているレポートの仕様文書は、Reports Package とともに ReportsPackMarketingOperations/cognos<version>/docs/ パスに自動的にインストールされます。

Marketing Operations Reports Package がインストールされた後に、以下のオブジェクト間レポートにアクセスするには、「分析」>「操作の分析」をクリックしてください。

- マーケティング活動レポート
- 期限超過マイルストーン・レポート
- プログラム・タスクおよびマイルストーン
- プロジェクト正常性 (月次)
- プロジェクト正常性 (トレンド)
- プロジェクトのオンタイム分析
- プロジェクト・パフォーマンス・クロス集計 (カスタム)
- プロジェクト・パフォーマンス・サマリー
- プロジェクト・パフォーマンス・サマリー (カスタム)
- プロジェクト・タスク
- リソース・タスク・ロード
- リソース使用状況サマリー
- システム・プログラム
- システム・プロジェクト
- システム・ユーザー
- タスクのオンタイム分析
- ベンダー支出サマリー
- ワークフロー承認の拒否理由分析レポート
- 独立した承認の拒否理由分析レポート

単一オブジェクト・レポートにアクセスするには、オブジェクト名をクリックしてから、「分析」タブの「レポート・タイプ」リストを使用します。「分析」タブで選択可能な単一オブジェクト・レポートは、以下のとおりです。

#### 計画用:

- 四半期別の予算サマリー

#### プログラム用:

- 請求書サマリー・リスト
- 四半期別の予算サマリー

#### プロジェクト用:

- すべての改訂
- 承認応答
- 請求書サマリー・リスト
- マーケティング・オブジェクト相互参照
- 承認およびコンプライアンスのリスト
- 四半期別の予算サマリー
- 詳細な経費の内訳

#### チーム用:

- 改訂履歴
- チームに割り当てられた業務
- チーム・メンバーに割り当てられた業務

管理者は、「設定」>「ダッシュボード・ポートレット」をクリックすることにより、レポート・ポートレットを確認して有効にすることができます。「ダッシュボード」タブで、ユーザーはダッシュボードを作成し、それにレポート・ポートレットを追加できます。

- 自分の承認サマリー
- マイ・タスク・サマリー
- プロジェクト・タイプ別の予算
- 四半期別の完了プロジェクト
- プロジェクト・タイプ別の予測
- マーケティング財務状態
- 要請されたプロジェクトと完了したプロジェクト
- プロジェクト・タイプ別の支出
- マネージャー承認サマリー
- プロジェクト・タイプ別のプロジェクト
- ステータス別のプロジェクト
- マネージャー・タスク・サマリー
- 自分のタスク
- 承認待ち操作
- 自分のアクティブ・プロジェクト
- 自分の要求
- 自分のアラート
- 予算超過プロジェクト
- マイ・タスクの管理
- マイ・プロジェクトの正常性

## 新機能および変更点

プロジェクト正常性の月次レポートおよびトレンド・レポート、ワークフローおよび独立した承認の拒否理由分析レポート、および「マイ・プロジェクトの正常性」レポート・ポートレットがこのリリースで新たに加えられました。

## 既知の問題

本リリースに既知の問題はありません。



## 第 7 章 IBM Marketing Operations-Campaign Reports Package

### IBM Marketing Operations-Campaign Reports Package について

IBM Marketing Operations-Campaign Reports Package は、Marketing Operations と Campaign の両方からの情報を結合するレポート一式を提供します。このパッケージのレポートは、Campaign システム・テーブルからデータを取得します。これらのレポートを使用するには、Marketing Operations-Campaign 統合を有効にし、IBM Campaign Reports Package と IBM Marketing Operations Reports Package の両方をインストールする必要があります。

提供されているレポートの仕様文書は、この Reports Package とともに ReportsPackCampaignMarketingOperations/cognos<version>/docs/ パスに自動的にインストールされます。

この Reports Package には、以下の IBM Cognos レポートが含まれています。

- キャンペーン・セルの収支比較
- キャンペーン・オファーの収支比較
- チャネル別のキャンペーン・オファーの収支比較

これらのレポートは、「分析」>「操作の分析」をクリックすることによってオブジェクト間レポートとして実行することも、プロジェクト名をクリックしてから「分析」タブにある「レポート・タイプ」リストを使用することによって単一オブジェクトのプロジェクト・レポートとして実行することもできます。

### 新機能および変更点

このリリースの IBM Cognos レポートに新機能および変更点はありません。

### 既知の問題

表 5. IBM Marketing Operations-Campaign Reports Package の既知の問題

問題	問題 ID	説明
キャンペーンに属性が指定されていないオファーが割り当てられている場合、「キャンペーン・オファーの収支比較」レポートが空白で表示される	DEF046423	キャンペーン・プロジェクトの連携キャンペーンに、オファー属性を持たないオファーに割り当てられたセルで構成されたフローチャートが含まれている場合、レポートは空白で表示されます。このレポートを正しく表示するには、セルに割り当てられたオファーに以下の属性が含まれていなければなりません。 <ul style="list-style-type: none"><li>• オファーの固定費</li><li>• オファー調達費</li><li>• レスポンス収益</li></ul>



---

## 第 8 章 IBM 技術サポートに問い合わせる前に

資料を参照しても解決できない問題が発生した場合は、貴社の指定サポート窓口の方が IBM 技術サポートに問い合わせることができます。以下のガイドラインを使用して、問題が効果的かつ成功裏に解決するようにしてください。

貴社の指定のサポート窓口以外の方は、必要な情報についてお客様の IBM 管理者にお問い合わせください。

**注:** 技術サポートが API スクリプトを記述したり作成したりすることはありません。API オファリングを実装するための支援が必要な場合は、IBM Professional Services に連絡してください。

### 収集する情報

IBM 技術サポートに問い合わせる前に、以下の情報を収集してください。

- 問題の性質についての簡単な説明。
- 問題発生時に表示される詳細なエラー・メッセージ。
- 問題を再現するための詳細な手順。
- 関連したログ・ファイル、セッション・ファイル、構成ファイル、およびデータ・ファイル。
- 『システム情報』で説明されている方法で取得できる、製品とシステム環境に関する情報。

### システム情報

IBM 技術サポートにお問い合わせいただいた際に、お客様の環境に関する情報の提供をお願いすることがあります。

生じている問題によってログインが妨げられていなければ、この情報の多くを、インストールされている IBM アプリケーションについての情報を示す「バージョン情報」ページから取得できます。

「バージョン情報」ページには、「ヘルプ」>「バージョン情報」と選択することでアクセスできます。「バージョン情報」ページにアクセスできない場合には、アプリケーションのインストール・ディレクトリーの下にある `version.txt` ファイルを調べてください。

### IBM 技術サポートの連絡先情報

IBM 技術サポートに連絡する方法については、IBM 製品の技術サポートの Web サイト ([http://www.ibm.com/support/entry/portal/open\\_service\\_request](http://www.ibm.com/support/entry/portal/open_service_request)) を参照してください。

**注:** サポート要求を入力するためには、IBM アカウントを使用してログインする必要があります。このアカウントは、IBM 顧客番号とリンクされている必要があります。アカウントを IBM 顧客番号と関連付ける方法については、Support Portal の

「サポート・リソース」>「ライセンス付きソフトウェア・サポート」を参照してください。

---

## 特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものです。

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒103-8510  
東京都中央区日本橋箱崎町19番21号  
日本アイ・ビー・エム株式会社  
法務・知的財産  
知的財産権ライセンス渉外

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

IBM Corporation  
170 Tracer Lane  
Waltham, MA 02451  
U.S.A.

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができますが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性があります。その測定値が、一般に利用可能なシステムのものと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確認できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者をお願いします。

IBM の将来の方向または意向に関する記述については、予告なしに変更または撤回される場合があります、単に目標を示しているものです。

表示されている IBM の価格は IBM が小売り価格として提示しているもので、現行価格であり、通知なしに変更されるものです。卸価格は、異なる場合があります。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

著作権使用許諾:

本書には、様々なオペレーティング・プラットフォームでのプログラミング手法を例示するサンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語で掲載されています。お客様は、サンプル・プログラムが書かれているオペレーティング・プラットフォームのアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することが

できます。このサンプル・プログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。従って IBM は、これらのサンプル・プログラムについて信頼性、利便性もしくは機能性があることをほのめかしたり、保証することはできません。これらのサンプル・プログラムは特定物として現存するままの状態を提供されるものであり、いかなる保証も提供されません。IBM は、お客様の当該サンプル・プログラムの使用から生ずるいかなる損害に対しても一切の責任を負いません。

この情報をソフトコピーでご覧になっている場合は、写真やカラーの図表は表示されない場合があります。

---

## 商標

IBM、IBM ロゴ、および [ibm.com](http://www.ibm.com) は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、<http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml> をご覧ください。

---

## プライバシー・ポリシーおよび利用条件に関する考慮事項

サービス・ソリューションとしてのソフトウェアも含めた IBM ソフトウェア製品（「ソフトウェア・オファリング」）では、製品の使用に関する情報の収集、エンド・ユーザーの使用感の向上、エンド・ユーザーとの対話またはその他の目的のために、Cookie はじめさまざまなテクノロジーを使用することがあります。Cookie とは Web サイトからお客様のブラウザに送信できるデータで、お客様のコンピューターを識別するタグとしてそのコンピューターに保存されることがあります。多くの場合、これらの Cookie により個人情報が収集されることはありません。ご使用の「ソフトウェア・オファリング」が、これらの Cookie およびそれに類するテクノロジーを通じてお客様による個人情報の収集を可能にする場合、以下の具体的な事項をご確認ください。

このソフトウェア・オファリングは、展開される構成に応じて、セッション管理、お客様の利便性の向上、または利用の追跡または機能上の目的のために、それぞれのお客様のユーザー名、およびその他の個人情報を、セッションごとの Cookie および持続的な Cookie を使用して収集する場合があります。これらの Cookie は無効にできますが、その場合、これらを有効にした場合の機能を活用することはできません。

Cookie およびこれに類するテクノロジーによる個人情報の収集は、各国の適用法令等による制限を受けます。この「ソフトウェア・オファリング」が Cookie およびさまざまなテクノロジーを使用してエンド・ユーザーから個人情報を収集する機能を提供する場合、お客様は、個人情報を収集するにあたって適用される法律、ガイドライン等を遵守する必要があります。これには、エンド・ユーザーへの通知や同意取得の要求も含まれますがそれらには限られません。

お客様は、IBM の使用にあたり、(1) IBM およびお客様のデータ収集と使用に関する方針へのリンクを含む、お客様の Web サイト利用条件（例えば、プライバシー・ポリシー）への明確なリンクを提供すること、(2) IBM がお客様に代わり閲覧者のコンピューターに、Cookie およびクリア GIF または Web ビーコンを配置することを通知すること、ならびにこれらのテクノロジーの目的について説明するこ

と、および (3) 法律で求められる範囲において、お客様または IBM が Web サイトへの閲覧者の装置に Cookie およびクリア GIF または Web ビーコンを配置する前に、閲覧者から合意を取り付けること、とします。

このような意図による、クッキーを含めたさまざまなテクノロジーの使用に関する情報は、「IBM オンラインでのプライバシー・ステートメント」(<http://www.ibm.com/privacy/details/jp/ja>) の『クッキー、Web ビーコン、その他のテクノロジー』の節を参照してください。





Printed in Japan